

本時のねらい

・ヨーロッパ州の事例をもとに、「地域として国同士がつながることが大切かどうか」について、自分の考えを説明できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・まなびポケットの「ポジショニング」機能を活用することで、生徒一人ひとりの思考が授業前と授業後でどのように変化したのかを可視化する。
・NHK for School の映像資料を活用することで、多様な視点から物事をとらえ、理解を深めることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・まなびポケットの「ポジショニング」機能 ・NHK for School の映像資料 ・タブレット端末

本時の展開（全4時間計画：4時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてと流れを確認する。 ・前時で学習した「EU が結成された目的や地域統合の取組み」を改めて確認する。 ・「地域として国同士がつながることが大切かどうか」について現時点での考えをまとめ、まなびポケットの「ポジショニング」機能で示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まなびポケットの「ポジショニング」機能を活用する。その際、自分の考えが深まらないまま解答してしまわないようことも想定されるので、あらかじめ用意したワークシートに考えを簡単にまとめる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○EU が結成されたことで生じた変化や課題について、教科書を使って調べ、まとめる。 ・イギリスが EU から離脱したことに触れ、その背景や離脱後のイギリスの状況を、NHK for School の映像資料を使って確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況に応じて、適宜、NHK for School 動画を停止して補足説明を行った。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○EU の事例を通して、地域統合のメリット・デメリットを理解したうえで、改めて冒頭の「地域として国同士がつながることが大切かどうか」について、考えをまとめ、まなびポケットの「ポジショニング」機能で示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度、まなびポケットの「ポジショニング」機能を示す際は、「考えは変わってもよし、変わらなくてもよし」ということを伝えた。また、授業の進捗状況によっては、「ポジショニング」機能にてコメントを入力できるようになっているので、どのような点で考えが変わったかなどを記入させ、全体で共有する。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：まなびポケットの「ポジショニング」機能を使って、自分の考えを示している場面



写真2：自分の考えを位置上で表示だけでなく、コメントとして記述もでき、言語活動につなげる場面



写真3：授業前・後の2回使用することで、考え方がどのように変化したのかを捉えることができた

児童生徒の反応や変容

・まなびポケットの「ポジショニング」機能を活用することで、普段はなかなか自分の意見を表現できない生徒も容易に表すことができ、挙手しての発言や教師が生徒を個別に当てて発言させるよりも全員の授業への参加度が高まった。
・生徒一人ひとりの思考が可視化され、またその状況を教員だけでなく生徒どうしで見取ることができるので、教員も生徒も思考の変容に気づくことができるとともに、どのように考え方が変わったのかなどの交流にも導きやすくなり、学びが深まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・生徒にとっては意思表示しやすく、ほぼすべての生徒が参加することができる。
・授業の前後で「ポジショニング機能」を活用することで、考えの変容がわかるので、本時のように既習事項を基に各自の考えを練り上げたり、友だちとの意見交流や議論を通して考えを深めたりする授業では、とても効果的である。